

✿E-O-D（早期若年発症の認知症）✿

Friendship Cafe

認知症のあるご本人・ご家族・携わっている皆様の交流の場です。介護をしているご家族の話の聞けたり、自身の体験を話す場もあります。関心がある方ならどなたでもご参加頂けます。皆様の参加をお待ちしています。

2023年3月6日(月)

10:00~12:00

会場：箱根町役場
住民ホール



- 認知症の人を介護していたご家族からのお話
- 交流会

【参加方法】 事前申し込み制
申し込み先 箱根町福祉課
☎0460(85)7790

参加費：無料

体調が優れない時は参加をお控えください
マスク着用・消毒にご協力をお願い致します
感染状況により急遽中止となる場合があります

主催：小田原・箱根・真鶴・湯河原の一市三町若年性認知症を考える会
協力：箱根町地域包括支援センター

問い合わせ先

若年性認知症支援コーディネーター田中 ☎0465-42-1630（曽我病院）

箱根町在住・在勤の方限定 ポーラ美術館「無料ご招待」

2023.3.1 (水) - 3.14 (火)

ポーラ美術館はおかげさまをもちまして、昨年、開館20周年を迎えることができました。日頃の感謝の気持ちをこめて、上記期間限定で、箱根町に在住及び在勤の皆さまのご入館を無料とさせていただきます。この機会にぜひご来館ください。尚、中学生以下の方は、いつでも無料でご入館いただけます。

ご覧いただける展覧会 2023.3.1 (水) より

部屋のみる夢

ご来館時に、箱根在住・在勤を証明できるものを必ずご提示ください。

※免許証、保険証、社員証、名刺など

確認ができない場合は通常料金とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

箱根町在住・在勤の方のみの適用とさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、イベントの中止・変更の場合がございます。

お車でご来館の場合は駐車料金がかかります。

From Bonnard to Tillmans and Contemporary Artists
Interior Visions

部屋の
みる夢

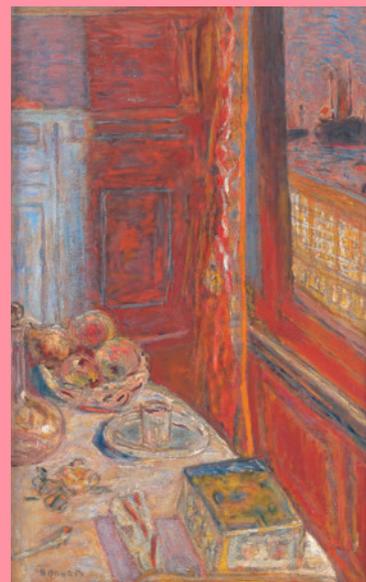


Berthe Morisot | Vilhelm Hammershøi
Pierre Bonnard | Édouard Vuillard | Henri Matisse
Kusama Yayoi | Wolfgang Tillmans | Takada Akiko & Masako
Sato Midori + Moriyama Yuichiro

ボナールからティルマンス、
現代の作家まで



ベルト・モリゾ | ヴィルヘルム・ハマスホイ
ピエール・ボナール | エドゥアール・ヴェイヤール
アンリ・マティス | 草間彌生
ヴォルフガング・ティルマンス
高田安規子・政子 | 佐藤翠 + 守山友一朗



ポーラ美術館

会期中無休 [開館時間] 9:00-17:00 (入館は16:30まで)
[主催] 公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館
〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285 TEL: 0460-84-2111 (代表)

Pola Museum of Art
Opening Hours : 9:00-17:00 (Last admission 16:30) Open Daily
Organizer : Pola Museum of Art, Pola Art Foundation
1285 Kozukayama Sengokuhara, Hakone-machi, Ashigarashimo-gun,
Kanagawa 250-0631

2023.1.28 [Sat] - 7.2 [Sun]

部屋のみる夢

ポナールからティルマンス、現代の作家まで

パンデミック以降、私たちの生活様式は大きく変化しました。移動が制限された状況で誰もが多くの時間を過ごしたのが、「部屋」という空間です。安心をもたらす室内での生活は、外の世界からの隔絶がゆえに閉塞感と隣り合わせのものでした。他方、閉じられた空間で紡がれた親しい人たちやかけがえのないものとの関係は、日常を生き抜くためだけでなく、変化の乏しい生活に彩りを添えるのに、欠かせないものであったと言えるでしょう。

本展覧会では、19世紀から現代に至るまでの、部屋にまつわる表現に特徴のある作家を取り上げ、この小さな世界のなかで織りなされる親密な記憶や夢のありようを、あらためて見つめ直します。個性にあふれた作家たちによる多彩な室内の表現は、ステイホームの経験を通じて静かに変容した私たちの心のなかで、新たな像を結び始めるでしょう。

Interior Visions

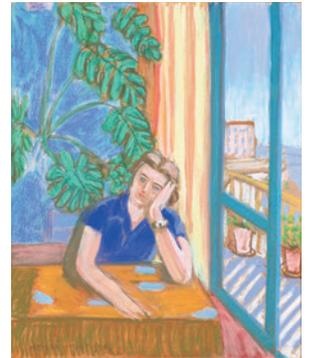
From Bonnard to Tillmans and Contemporary Artists

Since the onset of the COVID pandemic, our lifestyles have dramatically changed. It has become necessary to spend much time in the indoor space of 'rooms.' This keeps us safe but sometimes also leads to feelings of isolation and alienation from the outside world. Close relationships, critical in everyday life, have been crucial for enduring repetitive routine in closed spaces.

Featuring inspired visions of 'rooms' expressed by artists from the 19th century to the present day, this exhibition examines personal experiences and expectations associated with rooms. The creative visions of the artists offer us a new perspective on our lives that have been subtly transformed by the confined world of rooms.



1 ©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom



2



3



4

1. ベルト・モリゾ《テラスにて》1874年、東京富士美術館 / 2. アンリ・マティス《窓辺の婦人》1935年、ポーラ美術館 / 3. エドゥアール・ヴュイヤール《書斎にて》1927-1928年、ヤマザキマザック美術館 / 4. ヴィルヘルム・ハマスホイ《陽光の中で読書する女性、ストランゲゼ30番地》1899年、ポーラ美術館

1. Berthe Morisot, *On the Terrace*, 1874, Tokyo Fuji Art Museum / 2. Henri Matisse, *Woman by the Window*, 1935, Pola Museum of Art / 3. Édouard Vuillard, *In the Study*, 1927-1928, The Yamazaki Mazak Museum of Art / 4. Vilhelm Hammershøi, *Woman Reading in Sunlight, Strandgade 30*, 1899, Pola Museum of Art



5

©Yuichiro Moriyama



6

©Midori Sato, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



7

©Akiko & Masako Takada

5. 守山友一郎《Tea time on a table》2020年、個人蔵 / 6. 佐藤翠《Floating Dahlias Closet III》2022年、個人蔵 / 7. 高田安規子・政子《Relation of the parts to the whole》2022年 撮影 長塚秀人
5. Moriyama Yuichiro, *Tea time on a table*, 2020, Private Collection / 6. Sato Midori, *Floating Dahlias Closet III*, 2022, Private Collection / 7. Takada Akiko & Masako, *Relation of the parts to the whole*, 2022 photo: Nagatsuka Hideto

関連イベント | Related Events

詳細は展覧会ウェブサイトをご覧ください。

See the exhibition website for more information.



同時開催 | Also on View

ポーラ美術館コレクション選

2023年1月25日(水) — 7月2日(日)

Masterpieces of the Pola Museum of Art
Wed., January 25 — Sun., July 2, 2023

次回企画展 | Upcoming Exhibition

シン・ジャパニーズ・ペインティングー 革新の日本画(仮称)

2023年7月15日(土) — 12月3日(日)

Shin Japanese Painting (Tentative title)
Sat., July 15 — Sun., December 3, 2023

アクセス | Access

- 「小田原駅」より箱根登山線乗車。「箱根湯本駅」乗り換えで「強羅駅」下車後、観光施設めぐりバスにて13分「ポーラ美術館」下車
- 「小田原駅」「箱根湯本駅」より当館直通バス運行中

詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

- From Gora Station (Hakone Tozan Railway), use Sightseeing Shuttle Bus and get off at Pola Museum of Art (13 minutes).
- Direct bus from Odawara Station or Hakone-Yumoto Station: See the website for more information.



入館料 | Admission

大人 1,800 円

シニア割引 (65歳以上) 1,600 円 (他の割引との併用不可)

大学・高校生 1,300 円 中学生以下 無料

※団体15名様以上割引

※上記料金で常設展示もご覧いただけます

Adults : ¥1,800 Seniors (over 65) : ¥1,600

University / High school students : ¥1,300

Junior high school students or younger : Free

<表面作品>上から 草間彌生《ベッド、水玉強迫》2002年、ポーラ美術館 / ヴォルフガング・ティルマンス《静物、ボン・エステート》2002年、ポーラ美術館 / ビエール・ポナール《静物、開いた窓、トルーヴィル》1934年頃、アサヒビール大崎山崎美術館

<Works on the front> From top Kusama Yayoi, *Bed-Dots Obsession*, 2002, Pola Museum of Art / Wolfgang Tillmans, *still life, Bourne Estate*, 2002, Pola Museum of Art / Pierre Bonnard, *Still Life with Open Window, Trouville, ca. 1934*, Asahi Beer Oyamazaki Villa Museum of Art

© YAYOI KUSAMA

© Wolfgang Tillmans, Courtesy Wako Works of Art

ポーラ美術館公式SNSアカウント [f](#) [t](#) [iQ](#)

POLA MUSEUM OF ART

ポ ー ラ 美 術 館

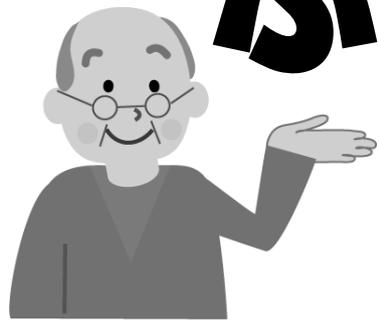
健康寿命を延ばそう！ 簡単運動教室

講師：デンマークイン小田原
作業療法士 渡辺 智和氏

【町の保健と介護予防の一体化事業】

and

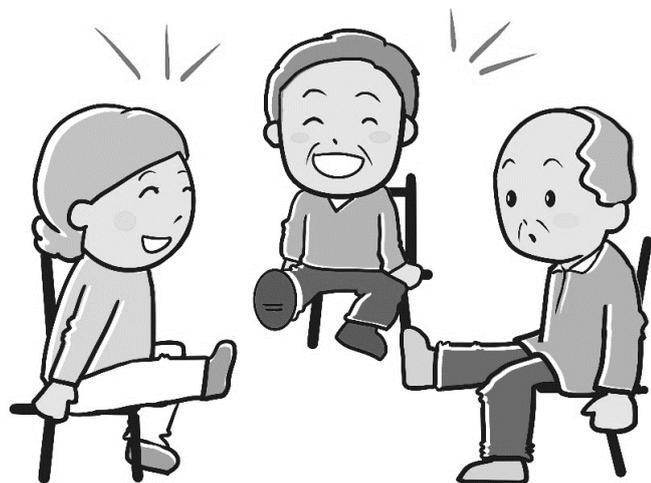
ふらっと相談会



令和5年 2月22日（水） 湯本仲町集会所

運動教室：14:00～15:30 *定員15名、事前申し込みが必要です。
相談会 : 14:00～16:00

相談会では
☆高齢者の皆様・ご家族の心配事
☆介護保険についてのご相談
☆施設の種類や入所について
☆福祉用具の種類・借り方
☆健康の事・将来の事



申し込み お問い合わせ
箱根町地域包括支援センター

☎ 85-3002まで

お気軽にどうぞ!

継続は力なり!

☆新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催が中止になる場合があります。



社協 はこね

編集・発行
社会福祉法人 箱根町社会福祉協議会
〒250-0311 箱根町湯本855
電話 0460-85-9000
FAX 0460-85-6888
e-mail hakosha-vc@poem.ocn.ne.jp
ホームページURL https://hakone-shakyo.jp/



体験型災害講座



近年大きな災害が増えている中、箱根町でも台風19号の被害を受けるなど、いつ身近で災害が起こるかわからない状況となっています。

今回実施した避難所運営シミュレーションゲームHUGは避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こりうる様々な出来事に対して思いのまま意見を出し合っ話し合いながらゲーム感覚で学ぶことができるため、誰でも参加することができます。

いざという時、助けがいつ来るかわからない最悪の事態となった場合、地域のみなさんで助け合い避難所の運営をすることも考えられます。

大変な時こそ相手への思いやりや地域での助け合いが必要です。社会福祉協議会では災害についての知識と福祉の気持ちを持ってほしいとの考え、より身近に災害について考えるきっかけとして箱根町総務防災課のご協力のもとシミュレーションゲームで体験型の災害講座を実施しました。

第1回目として実施した今回は、地域の自治会長さんや民生委員さん等にご参加いただき、様々な意見を出し合いました。

「実際に被害を想定しながら体験型で考えられるので、参加者からはイメージが湧きやすく日頃気づかない様々な問題に気づくことができた」などの感想を頂き、とても良い講座となりました。

子どもから高齢者まで、町民の皆さまと箱根町の地域の防災について意見を出し合い考えることはとても大切な機会だと思えます。

これから起こる災害に備え日頃から話し合うことで、いざという時にみんなで同じ意識を持ち協力しあえる、そんな地域を目指し、今後も継続して実施をしていきたいと考えていますので、少しでもご興味のある方はお気軽に社会福祉協議会までご連絡ください。

問い合わせ先

社会福祉法人箱根町社会福祉協議会
0460-85-9000

担当：曾我



みなさん真剣です！



みんなで楽しむ!!クリスマスコンサート♪



令和4年12月23日（金）に仙石原文化センターにて、「みんなで楽しむ!!クリスマスコンサート♪」を開催しました!!

長いコロナ禍で、みんなで集まるイベントは久しぶりでした。素敵なピアノの演奏、綺麗な音色のベル、フルート、アルトサクソ、可愛く元気の出るダンスなど、楽しさと元気をもらいました◎

今回のクリスマスコンサートは、「誰でも参加できる」「誰でも参加しやすい」をテーマに、ピアノやベル、ダンスなどを通じて、みなさんが住む地域の中で、生まれた国、性別、年齢や障がいの有無など、自分とは異なる個性を知り、誰もが楽しめたらいいなあと思ひ小田原短期大学さん、(社福) 宝安寺社会福祉事業部ほうあん第一しおんさん、箱根町社会福祉協議会のコラボで企画を実施しました☆

私たち、箱根町社会福祉協議会はどんな個性がある人もお互いを知って、お互いの素敵なところを認め合い、お互いの弱さを助け合って、これからも生活していけるような地域を目指して、楽しい企画を実施していきたいと思ひます!!

楽しみに待っていてくださいね～♪



絵画ワークショップ&ミニコンサート

12月3日から9日は、障がい者福祉に関心を持っていただくための「障害者週間」と定められています。箱根町手をつなぐ育成会の主催により今年もワークショップとミニコンサートが開催されました！

箱根町役場本庁舎住民ホールにて干支の絵手紙作りと、大正琴のミニコンサートが行われ、今年も沢山の人が集まりました😊

- 令和4年12月5日(月)～12月9日(金)「絵画展示」
- 令和4年12月7日(水)「絵画ワークショップ」
講師：日向野祥子さん
- 令和4年12月8日(木)「大正琴ミニコンサート」
演奏：福井 真澄さん



個性溢れる作品



大正琴のミニコンサート♪

～ご寄附の紹介～

住民の皆様よりいただいたご寄附を紹介いたします。
いただいたご寄附については、有効かつ適切に使用させていただきます。ご協力に心よりお礼申し上げます。

匿名	10,000円
関水晴彦 様	10,000円
匿名	3,000円
匿名	10,000円
匿名	10,360円



～箱根町社協！フードドライブ！～

ご協力頂きました皆様、どうもありがとうございました!!

箱根町宮城野女性会 様
公益社団法人 小田原青年会議所 様
また個人や団体に寄付を下さった皆様方



箱根町社会福祉協議会では、引き続きフードドライブを実施しています。

皆様のご家庭、職場で眠っている食料品はありませんか？
「もったいない」を「ありがとう」に変えるチャンスです！

たくさんあるので
おすそわけしたい



食べきれず
もったいない

そんな食品達を無駄にしまうことなく、活用できる制度が「フードドライブ」です。
フードドライブとは、家庭や職場で余っている食べ物を寄付する活動です。
寄付して頂いた食品は必要としている世帯の方や団体の方にお渡しします。

お持ちいただきたい食品

- ◎缶詰(肉、魚、野菜、果物)
- ◎インスタント食品、レトルト食品
- ◎乾麺
- ◎菓子類
- ◎飲料(コーヒー、お茶)
- ◎冷凍食品



こちらはお受けできません…ごめんなさい!

- ×冷蔵品
- ×生鮮食品
- ×お惣菜、お弁当
- ×アルコール
- ×ペットフード
- ×賞味期限が2ヶ月以内のもの
- ×開封済みのもの

上記の食品で、未開封であり、包装や外装が破損していないもので、賞味期限が2ヶ月以上のものをお持ち下さい。ご理解、ご協力をお願い致します。

受付窓口：箱根町社会福祉協議会
住 所：箱根町湯本855(旧湯本中学校内)
電話番号：0460-85-9000 担当：山本

日常生活自立支援事業とは？

高齢や障がいによって、一人では日常生活に不安のある方が安心して生活が送れるように、箱根町社会福祉協議会と本人が契約に基づいて、高齢者や障がいのある方等の権利擁護を図ることを目的とした事業です。

支援内容

- ①福祉サービス利用援助
福祉サービスの利用に関する情報の提供・相談・申し込み・契約のお手伝い、苦情解決制度の利用手続きなど。
- ②日常的な金銭管理サービス
福祉サービスや医療費の利用料金、税金や保険料、公共料金、家賃の支払い手続きや年金や福祉手当の受領に必要な手続きなど。
- ③書類等預かりサービス
年金証書、預貯金通帳などの書類の預かり。

上記のお問い合わせについてはこちらまで、お気軽にご相談下さい。

箱根町社会福祉協議会
0460-85-9000 担当：山本

成年後見制度とは？

認知症や障がいなどにより、判断能力が十分ではない方が、必要な契約を結ばなかったり、自身に不利益な契約を結んでしまったりする場合に備えて、家庭裁判所が選んだ成年後見人、保佐人、補助人が、本人に代わって福祉サービスの利用契約などを行ったり、不動産や預貯金などの財産管理をする仕組みです。

成年後見制度には、法定後見制度と任意後見人制度の2つの制度があります。

上記のお問い合わせについてはこちらまで、お気軽にご相談下さい。
箱根町地域包括支援センター 0460-85-3002

令和4年度

共同募金にご協力いただき ありがとうございました

今年度も皆さまのご協力を得て「赤い羽根共同募金」並びに「年末たすけあい募金」を行ったところ、多くのご寄附をいただきましたのでご紹介いたします。

赤い羽根共同募金	1,275,779円
年末たすけあい募金	1,528,718円
合計	2,804,497円

(令和4年12月31日現在)

【赤い羽根共同募金】

湯本地域自治会、温泉地域自治会、宮城野地域自治会、仙石原地域自治会、箱根地域自治会、さがみ信用金庫（湯本支店、宮城野支店、仙石原支店）、箱根湯本郵便局、箱根宮ノ下郵便局、箱根強羅郵便局、芦之湯郵便局、仙石原郵便局、宮城野郵便局、箱根町郵便局、JAかながわ西湘箱根支店、スルガ銀行箱根支店、横浜銀行箱根湯本支店、函嶺百合学園小学校、函嶺百合学園中・高等学校、湯本小学校、箱根の森小学校、仙石原小学校、箱根中学校、仙石原文化センター祭り、星槎大学、箱根温泉供給、早雲寺、権現からめ餅、奈可むら、仙石高原開発、奥箱根観光、堂畑造園工務所、勝俣組、セントラル、広和建设、勝俣光絵、上野工務店、箱根瓦斯石油、湘南温泉土地合資会社、太原、小田原箱根観光小田原湯本カントリークラブ、はつ花、浜松屋、魚七、勝俣博之、箱根温泉旅館ホテル協同組合、箱根神社、箱根美掃、内藤電機、芦ノ湖テラス、小田急リゾート箱根ハイランドホテル、勝俣工務店、つちや歯科医院（土屋俊彦）、中條房子（福よし）、山、ふじ美容室、ぽん太、ユトリ口、勝俣裕一、上田雅貴、尾泉内科医院（尾泉博）、むつみ会、ストービー百代、箱根町職員親和会、箱根町消防職員親和会（敬称略）

【年末たすけあい募金】

湯本地域自治会、温泉地域自治会、宮城野地域自治会、仙石原地域自治会、箱根地域自治会、中條房子（福よし）、箱根湯寮、奈可むら、箱根瓦斯石油、内藤電機、仙郷楼、箱根温泉供給、昭栄社、昭電社、魚七、早雲寺、ユトリ口、権現からめ餅、箱根清掃公社、西電工、広和建设、孝創建築事務所、神静建設、仙石高原開発、下村隆雄、フィッシングショップノザキ、上野工務店、太原、ちもと、セントラル、勝俣組、芦ノ湖グリーンハウス、箱根金湯苑、ホテル南風荘、富士箱根交通宮ノ下営業所、つちや歯科医院（土屋俊彦）、田崎吾郎、勝俣工務店、箱根温泉旅館ホテル協同組合、箱根美掃、箱根神社、甘酒茶屋、芦ノ湖テラス、神奈川パークス、箱根町職員親和会、箱根町消防職員親和会（敬称略）

箱根町の募金の活用例



集まった募金は、このように様々な取り組みに活用されています。



住民の「憩いの場」サロン活動や、福祉活動を行う地区社協の活動支援など



ボランティアの育成や活動助成、福祉教育や災害時のボランティア活動費など



高齢者に関する福祉事業や、児童に関する福祉事業など



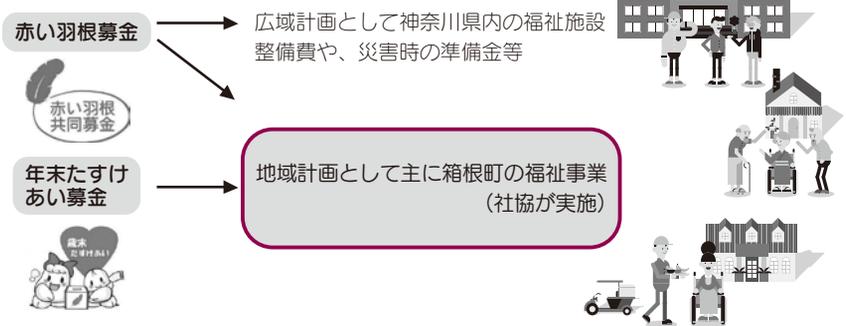
障がい児者に関する事業や、災害時の支援、生活に関する困りごとの支援など

その他、寄付者様のご寄付の使い道の意向に沿って、高齢者福祉として敬老祝い品事業や、ボランティア団体への助成費用や、生活困窮者に関する支援等、たすけあい・ささえあいのきもちを「じぶんの町を良くするしくみ」として、箱根町の福祉活動に活用されています。

～ “たすけあい” “ささえあい” のご協力をお願いいたします～

～募金ってどのように使われるの？～

ご協力いただいた寄附金は、神奈川県共同募金会を通じて、「じぶんの町を良くするしくみ」として、主に箱根町の社会福祉活動に使われています。



箱根町社協においては、次の事業に活用しています

(令和4年度予算額 2,320,000円)

・児童福祉に関する事業	}	495,000円
・障がい児者福祉に関する事業		
・高齢福祉に関する事業		
・生活困窮者支援・災害見舞金等	}	635,000円
・災害ボランティアセンターの整備		
・福祉ボランティアの育成・促進		
・ボランティアグループの活動助成		
・ボランティア講座の開催	}	22,000円
・社会福祉大会の開催等福祉の普及啓発		
・地区社協、サロン等への助成等		
・地域福祉に関する事業	}	868,000円
・小中学生のいる低所得世帯への年末慰問金の配分		
合計		2,320,000円

『ボランティアいちから講座』を実施しました！

3週連続の講座として小田原市社会福祉協議会と共催でボランティアいちから講座を実施しました。

この講座はボランティアに興味があるけど何から始めたらいいのかわからない。そんな方々にボランティア活動を始めるきっかけになって頂きたいと、今回企画をしました。

1日目は車いすユーザーの方のお話を聞き、2日目は実際に車いすに乗ってみんなで街を歩くなど実践的な車いす講座になりました♪

3日目の講座では、最近身近に取り上げられることの多い発達障がいについてわかりやすく詳しく話を聞くことができ、はじめの一歩としてとても良い経験だったなどの感想も頂きました。

ご参加、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました😊

今後も継続して実施する予定なので、ご興味のある方はぜひお申し込みください。



学び橋挑戦中！

※下記の日程で実施しました。

	日程	内容	講師
1	11月4日(金) 13:30~15:30	「車いすについて」 実際に車いすを利用されている方のお話を聞き、さらに車いすの操作方法について学びます。	車イス利用者 神奈川県西地区 リハビリテーション協議会
2	11月11日(金) 13:30~15:30	「車いす体験」 実際に車いすに乗り街歩きを体験します。	神奈川県西地区 リハビリテーション協議会
3	11月18日(金) 13:30~15:30	①「発達障がいについて」 発達障がいの特徴や関わり方について学びます。	神奈川県発達障害者 支援センターかながわ ^{エス}
		②「座談会」	社会福祉協議会職員



車いすユーザーさんのお話♪



発達障がい講座

デイサービス通信

デイサービスでは、季節の行事を大切にしています。秋祭りや、焼き芋大会など、利用者様に楽しんでいただきたい！でも、職員だけではちょっと手が足りない…そんな時「いつでも声かけてね」とヘルプに応じて下さるボランティアの方々に助けられています。

感染症が流行し、福祉施設では外部の方の支援をお断りせざるを得ない状況が続きました。まだ流行はおさまっていませんが、ボランティアの皆様には当日の検温や体調観察、消毒やマスク着用の徹底などのご協力をいただき、活動をお願いしています。

いつもお帰りの際に「また呼んでね」の一言がとてもありがたく、心強く感じます。これからもどうぞご協力をお願いいたします。そして、施設でのボランティア活動にご関心のある方は、ぜひ社会福祉協議会までお問い合わせください。



ボランティアさんに教わりながら、染め物にチャレンジ！



「初めてやるわ！」と秋祭りで綿菓子作りを手伝って下さいました。

箱根町地域活動支援センター「レインボー」 ご利用者募集中(まずは見学を)

レインボーは箱根町より業務委託を受け、箱根町社会福祉協議会が運営している箱根町唯一の障がい者通所施設です。

障がいを抱えている方々が自分らしく日常生活を営み楽しむためや、将来やりたいことに向けてステップアップのためなど、それぞれのニーズに合わせ通所されています。

活動内容は、刺子そうきん製作、手すきハガキ、イラスト作成などの手工芸、その他箱根町から委託された公園清掃(月2回)などを実施し、これらの活動で得た収入全てを、ご利用者へ工賃としてお支払いしています。

また、作業以外では卓球やバドミントンなどのスポーツレクリエーション、パステル画、読み聞かせ、ゲーム、音楽等のレクリエーション日も設け(月3~4回)気分転換や楽しみの時としています。

通所日数や通所時間、レクリエーション参加などは利用者さんの希望に添って決めているので無理なく通所できるようになっています。

対象は、各種障がいの認定を受けている方、または障がい福祉サービスを利用している方です。まずは下記までお気軽に、ご連絡ご相談ください。



利用日時 平日 午前10時から午後3時まで
土・日・祝日・12月29日から1月3日はお休みです。

場 所 箱根町総合保健福祉センターさくら館1階
箱根町宮城野881番地の1

問合わせ 82-2252
箱根町地域活動支援センター 担当 新聞まで